



あそび

×

学び

×

コミュニケーション

サルから始まるアプリのおはなし



コミュニケーション力が問われる場面が増えている昨今、メールなどそのツールも多様化してきています。「ヒトを含めた霊長類のコミュニケーションの研究」の第一人者で、発達や学習に課題のある子どもたちなどのための国語機能向上アプリ開発に携わられた講師に、サルの研究から見てきた人と人とのつながりとコミュニケーション力を育むヒントについてお話していただきます。

サルから人へ、コミュニケーションとは？ そして、アプリケーションまで。

※アプリとは…アプリケーションの略。スマートフォンやタブレット、パソコンなどの電子端末上で動作するソフトウェアの総称。

平成28年3月7日(月)

午後2時～4時 (開場 午後1時30分)



京都大学霊長類研究所 教授
NPO 法人発達障害療育センター 理事長
正高信男氏

場 所: 港区民センター 1階ホール(大阪市港区弁天 2-1-5)

定 員: 150名(市内在住、在勤、在学の方で先着順)

申込み: 参加希望者の氏名・連絡先を電話・FAX・メールのいずれかで
下記までお知らせください。

港区社会福祉協議会 港区弁天 2-15-1

TEL: 6575-1212 FAX: 65751025

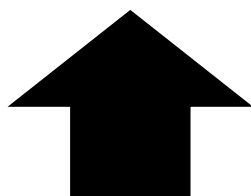
メール: [minatoku-shakyo.com](mailto:minato@minatoku-shakyo.com)

対面手話通訳あり

主催: 社会福祉法人大阪市港区社会福祉協議会 / ボランティアグループ おもちゃ図書館 ひまわり

共催: 大阪市港区役所

FAX: 6575-1025



あそび

×

学び

×

コミュニケーション

サルから始まるアプリのおはなし

申込用紙 FAX用

氏名	
電話／ファックス	/
対面手話	希望する / 希望なし

※提供いただきました個人情報については、名簿の作成や案内の送付等のためにのみ使用し、他の目的で使用及び第三者へ提供することはありません。

講師：正高 信男氏

1954年、大阪生まれ。

京都大学霊長類研究所 教授。

NPO 法人発達障害療育センター理事長。

ヒトを含めた霊長類のコミュニケーションの研究の第一人者で、発行部数 20 万を超える「ケータイを持ったサル」をはじめ、著書多数。コミュニケーションについての研究の他、子どもがどのように言葉を覚えるのか、発達障がい児の読み書き学習支援、コミュニケーション力の深化についてなど多くの講演をされている。また、NPO 法人 発達障害療育センター理事長も務め、コトバロメーター(国語機能向上アプリ)や、デジタル絵本などの開発にも取り組まれている。

主催者の紹介

ボランティアグループ おもちゃ図書館 ひまわり

おもちゃ図書館とは、障がいのある子どもたちにおもちゃの素晴らしさと遊びの楽しさを」との願いから始まったボランティア活動です。おもちゃは「遊び」を豊かにします。障がいのある子どもたちの中には、なかなか上手に遊ぶことができない子どももおり、たくさんのおもちゃを用意して、楽しく遊べるよう機会を提供しています。そして、ママたちのリフレッシュや情報交換の場、何より共有と共感を実感できる場づくりを目指しています。

活動日：毎月第3土曜日 14:00～15:30

活動場所：港区民センター 2階 橘(港区弁天 2-1-5)

問合せ先：港区社会福祉協議会 電話 6575-1212

FAX 6575-1025